

学年研修目標 自分めあてを持って、仲間とともに活動を広げていく子
 活動のテーマ とび出せ！わくわく大なんたんけんたい

1. 具体的な活動内容

たんけんにいこう

10/17 のりものによってたんけんに行こう
 （楽寿園探検）

事前の活動

- ・グループや個人でバス停や駅の様子を調べた。
- ・バスや電車に乗ったことのある子を中心に、バスや電車の乗り方を調べた。
- ・楽寿園はどんな所か調べ、グループで探検の計画を立てた。
- ・公共の場所での過ごし方について学習したり、学級やグループの約束について、話し合ったりした。

当日の活動

- ・行きは、定期バスと増発バスを使って、「トースポーツ前」のバス停からグループごとに乗車した。失敗もあったが、各自整理券を取り、運賃を払って乗車する経験ができた。
- ・グループで決めた役割分担や活動計画に従って、探検をした。動物を詳しく観察したり、楽寿園の中にあるものを発見したり、乗り物に乗ったり、協力して活動できた。
- ・帰りは、三島駅で券売機を利用して、各自電車の乗車券を購入した。自動改札を通して電車に乗り降りする経験をした。
- ・お金を自分で管理し、扱う経験をした。

事後の活動

- ・グループや個人で活動の反省をしたり、感動を文や絵にかき表したりした。

やさいをそだてよう

10/22 サツマイモのしゅうかくをしよう

事前の活動

- ・9月～10月は、サツマイモのつるの成長の様子を観察したり、雑草取りや水やりをしたりして、発見カードに書いた。
- ・採れたイモをどうしたいか話し合い、焼きイモにして1年生にあげたり、自分たちも食べたりすることにした。残りは給食室で調理していただき、全校生に食べてもらうことになった。

当日の活動

- ・各クラス、自分たちの苗差しをした畝のイモを収穫した。長いつるを引っ張って土の中からイモが出てくると大喜びしていた。土の中に残ったイモも丁寧に掘り出していた。たくさんの収穫があった。
- ・イモを掘り終わると、つるで縄跳びをしたり、体中につるを巻き付けたりして夢中になって遊んだ。

収穫後の活動

- ・その日のうちに感動を絵に表した。
- ・給食室で焼きイモにさせていただき、1年生にあげたり、自分たちで食べたりした。
- ・残りのイモは給食室で大学イモにさせていただき、全校生に食べてもらった。

おまつりをしよう

10/7～11/22 名人に教えてもらおう（黄瀬川だいこ）

- ・黄瀬川太鼓保存会の森田さんをはじめ、メンバーの方に教えていただき、長胴太鼓、竹太鼓、長竹太鼓などの経験をした。教師は竹太鼓の修理や長竹太鼓の準備をした。

11月上旬～

- ・各クラスききょう祭りについて、2年生全員で体育館にてチャレンジランキングの店を出すことに決定した。
- ・クラスごとにゲームの種目を決め、店の準備をすすめた。

11/22 ききょう祭り

- ・オープニングセレモニーや前後半に分かれての活動時間に、黄瀬川太鼓の演奏をした。
- ・体育館で、各クラスごと店を開いた。店の雰囲気盛り上げるために手作りのはっぴを着て参加した。

事後の活動

- ・ききょう祭りの様子を絵や文で表現した。
- ・プリントにより自己や友達の活動を振り返った。

自分たんけん自分はっ見

1月 あしたへジャンプ

- ・1年間で思い出に残ったことやできるようになったことを話し合った。
- ・参観日に発表会を開き、成長した様子を伝えることになった。
- ・学級の枠を外し、同じような活動を希望している子ども同士でグループを作って発表することになった。
- ・グループで相談や準備、練習をした。

2/4 自分たんけん自分はっ見 思い出はっぴょう会

- ・学校たんけん・校区たんけん、やごとり、いもほり、らくじゅえんたんけん、国語、算数、体育の7グループに分かれて発表した。
- ・合奏や黄瀬川太鼓の演奏をした。

事後の活動

- ・プリントにより、自己や友だちの活動を振り返った。

2. 児童の表れ（別紙資料）



楽しかったサツマイモの収穫



長いついで遊んだよ。



黄瀬川太鼓 自己評価



黄瀬川太鼓
地域の方々に教えていただきました。

ききょう祭り
活動後、友だちのよいところ、
自分のがんばったことなどを
ふり返りました。



学年研修目標 自分のめあてを持って、仲間とともに活動を広げていく子

1. 総合的な学習のテーマについて

・子どもの思いと生活科の年間計画（多少変更したが）と学校行事とがうまく関連し合っていたので、子ども達は意欲的に取り組めた。
・相互評価や自己評価を随時取り入れてきたので、各自が自分の目標を持ったり、互いのよさを認め合ったりすることができた。それが次の活動につながっていった。

2. 学年研修目標について

・1年生との関わり（1, 2年なかよし会）

野菜と自分との関わり（やさいをそだてよう）

学級の友だちとの関わり（とび出せ！大なんたんけんたい）（のりものにのってでかけよう）

地域の人との関わり（とび出せ！大なんたんけんたい）（名人に教えてもらおう）

学年の友だちや他学年との関わり（おまつりをしよう）

学級の枠を外しての学年全体との関わり（自分たんけん自分は見）

と、関わる対象が広がるにつれて、子ども達の活動にも広がりが見られた。人との関わり方も次第に身につけてきた。又、人との関わりの中で自分自身の新しい面に気づき、それまでに見られなかった力を発揮するようになった。

3. 生活科（総合的な学習）で育てたい力について

人との関わりを高める力

自己評価、相互評価をすることを通して、自分自身をふり返ったり、相手の良さに目を向けたりする姿勢が育っていった。

課題を追求する力

体験を通して追求することが主であったが、家の人や友だちに聞く、本で調べる、地域に住んでいる方で、その道に詳しい方に教えていただくなどの方法も身に付いてきている。中にはインターネットを活用して調べてくる子も見られた。

表現する力

絵や文で表す、紙芝居、ペープサート、新聞、動作化、劇などいろいろな表現方法を体験できた。

4. 年間の活動について

生活科の年間計画が盛りだくさんでゆとりがなかったので、単元全体を通しての話し合いが十分にできなかった。もっと内容を精選したい。